

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和3 年度)

施策コード	121		施策名	市民活動の支援
将来像	1	安全でうれしいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)		
まちづくりの基本目標	12	生きがいを持って文化的に生活できるまち		
担当部	企画部		担当課	シティプロモーション課

2. 施策の方向

10年後の姿	地域の課題を解決するための市民活動がさまざまな分野で活発に展開されています。また、そうした活動に幅広い世代の市民が積極的に参加しています。			
施策の方向性	1	市民活動の活性化を支援します		
	2	市民活動への参加を促進します		

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和3年度決算額
市民協働推進事業	1、2	シティプロモーション課	8,769
総事業費(施策の合計)			8,769

4. まちづくり指標

指標情報					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	この一年でボランティア活動や地域活動に参加したことがある人の割合			目標値	29.0	29.0	29.0	34.0	37.0
	説明	—	単位	%	実績値	17.1	17.1(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)			達成率	59.0%	59.0%			
②	名称	住んでいる地域に対して何か貢献したいと思う人の割合			目標値	58.0	58.0	58.0	64.0	67.0
	説明	—	単位	%	実績値	52.7	52.7(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)			達成率	90.9%	90.9%			

※①②抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和3年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成事業の状況については、施策の方向性の1と2の目的達成の手段となっており、「10年後の姿」を達成するために適当な事務事業が展開されている。</li> <li>● 市民活動センターにおいて実施した助成金説明会に参加した団体同士で、課題やネットワークづくりの情報交換を行った。</li> <li>● コロナ禍においても、ボランティアや市民活動が活動を維持、継続できるようにIT等、ツールの導入支援として「ビデオ会議ツールZoomオンラインお話し＆相談会」を実施した。</li> <li>● コロナ禍により生じた市民活動団体等の活動停滞に対し、解決の取り組みや活動継続の支援のため「地域課題解決事業補助金事業」を実施し、6件の事業が採択され、市民活動の安定的な運営や地域住民の安心・安全など、コロナ禍におけるそれぞれの地域課題の解決に役立てられた。</li> </ul>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
 維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
 停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和3年度からの変更点	新型コロナウイルス感染症による影響の長期化に伴い、更なる市民活動の支援が求められる。
-------------	--

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題  課題に対する令和5年度以降の取組	コロナ禍により活動場所が減少し活動意欲も失われる傾向がある中、より市民に広く市民活動に関する情報を届け、講座やイベント(オンライン開催)または財政支援などを通じ市民活動に関わるきっかけや活動する上で有益な情報を提供する必要がある。  多様な活動ニーズを把握し、より広い市民活動やボランティア活動の考え方を提示できるようにするとともに、市民活動の支援につながる情報提供に努める。また、オンラインを活用したつながりづくりの創出にも努めていくとともに活動団体の協力を得て学びや体験の場を増やしていく。
---	-------------------------------------	---